



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,924	△14.0	305	△57.6	345	△51.0	188	△61.5
2020年3月期第2四半期	51,060	△13.6	721	△39.2	706	△33.6	488	△23.9

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 157百万円 (△51.0%) 2020年3月期第2四半期 320百万円 (△71.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	5.07	—
2020年3月期第2四半期	12.86	—

(注)当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。また、2020年8月7日付で、自己株式2,200,000株の消却を行っております。なお、1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間595,371株、当第2四半期連結累計期間565,414株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間396,857株、当第2四半期連結累計期間387,385株、控除して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	69,298	49,219	70.1	1,310.34
2020年3月期	71,993	49,544	68.0	1,321.73

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 48,608百万円 2020年3月期 48,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.00	—	14.00	—
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注)当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	△11.4	600	△62.8	600	△66.1	380	△69.3	10.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	47,510,566 株	2020年3月期	49,710,566 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	10,414,120 株	2020年3月期	12,688,620 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	37,053,746 株	2020年3月期2Q	38,021,203 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)

1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、2020年8月7日付で、自己株式2,200,000株の消却を行っております。

3. 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期594,000株、2021年3月期2Q527,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期390,600株、2021年3月期2Q382,800株含まれております。

4. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期2Q595,371株、2021年3月期2Q565,414株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期2Q396,857株、2021年3月期2Q387,385株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び行跡予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移しました。直近では、段階的な経済活動の再開により緩やかな回復の兆しも見られますが、依然として不透明な状況が続くものと思われます。このため、エレクトロニクス業界においても市況の低迷が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、主要分野である産業機器関連・自動車電装機器関連・娯楽機器関連、いずれも前年同期比で減収となりました。

結果としましては、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高439億24百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益3億5百万円（同57.6%減）、経常利益3億45百万円（同51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億88百万円（同61.5%減）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は366億44百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

##### ① 集積回路

国内においては、産業機器関連・娯楽機器関連は前年並みとなりましたが、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、自動車電装機器関連・OA機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は180億49百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

##### ② 半導体素子

国内においては、産業機器関連は前年並みとなりましたが、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、通信機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は50億8百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

##### ③ 回路部品

国内においては、娯楽機器関連は前年並みとなりましたが、自動車電装機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、娯楽機器関連・自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は64億70百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

##### ④ LCD等

国内においては、自動車電装機器関連は前年並みとなりましたが、娯楽機器関連・OA機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、産業機器関連・OA機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、LCD等の売上高は8億47百万円（前年同期比34.6%減）となりました。

##### ⑤ その他電子部品

国内においては、産業機器関連は前年並みとなりましたが、娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は62億67百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

#### アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内・海外ともに、娯楽機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は56億89百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

#### その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発

国内において、ソフトウェア受託開発は、自動車電装機器関連向けに低調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は15億91百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、692億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億94百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が45億14百万円、投資有価証券が3億14百万円増加したものの、現金及び預金が50億8百万円、受取手形及び売掛金が26億70百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、200億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億69百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が22億75百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は492億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億24百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億24百万円増加したものの、自己株式消却を行い自己株式が18億15百万円、資本剰余金が1億89百万円、利益剰余金が19億20百万円減少したこと、為替換算調整勘定が2億55百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.1%（前連結会計年度末は68.0%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が3億32百万円（前年同四半期比56.4%減）となり、売上債権の減少、未収入金の減少、短期借入れによる収入等があったものの、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、無形固定資産の取得による支出、短期借入金の返済による支出、配当金の支払等があったことにより、前連結会計年度末に比べ50億21百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末においては189億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、38億57百万円（前年同四半期51億49百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が3億32百万円および、売上債権の減少25億33百万円、未収入金の減少3億77百万円等があったものの、たな卸資産の増加47億24百万円、仕入債務の減少20億25百万円等があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億79百万円（前年同四半期比205.7%増）となりました。これは主に無形固定資産の取得による1億97百万円、その他の支出による1億33百万円の支出等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億29百万円（前年同四半期比67.5%減）となりました。これは主に短期借入れによる収入1億5百万円があったものの、短期借入金の返済による支出1億93百万円、配当金の支払5億30百万円の支出等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立を図る政策の中で徐々に持ち直すものと想定します。

このような環境のもと、当社グループの2021年3月期の連結業績予想につきましては、主要分野である産業機器関連・自動車電装機器関連の回復を見込み、2020年10月29日に連結売上高900億円（前回発表比+10億円）、営業利益6億円（同+1億円）、経常利益6億円（同+1億円）、親会社株主に帰属する当期純利益3億80百万円（同+80百万円）に修正をおこないました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの影響などの経営環境の変化に的確かつ迅速に対応し、着実な経営の施策を実践してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,002	18,993
受取手形及び売掛金	20,525	17,855
商品及び製品	14,892	19,406
仕掛品	15	107
未収入金	6,706	6,743
その他	227	148
貸倒引当金	△6	△17
流動資産合計	66,363	63,238
固定資産		
有形固定資産	855	938
無形固定資産	597	538
投資その他の資産		
投資有価証券	2,277	2,591
繰延税金資産	149	147
その他	1,752	1,846
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,176	4,583
固定資産合計	5,630	6,059
資産合計	71,993	69,298
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,232	8,956
電子記録債務	2,289	2,446
短期借入金	1,466	1,353
1年内返済予定の長期借入金	600	3,100
未払法人税等	279	237
賞与引当金	454	411
役員賞与引当金	41	9
子会社整理損失引当金	15	—
その他	2,008	1,931
流動負債合計	18,388	18,446
固定負債		
長期借入金	2,500	—
繰延税金負債	48	182
再評価に係る繰延税金負債	4	4
役員株式報酬引当金	103	60
従業員株式報酬引当金	97	92
退職給付に係る負債	1,021	994
その他	284	298
固定負債合計	4,059	1,632
負債合計	22,448	20,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,788	9,599
利益剰余金	39,064	37,144
自己株式	△10,122	△8,306
株主資本合計	48,233	47,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	635
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	△50	△50
為替換算調整勘定	330	75
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	699	669
非支配株主持分	611	611
純資産合計	49,544	49,219
負債純資産合計	71,993	69,298

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	51,060	43,924
売上原価	46,189	39,837
売上総利益	4,870	4,087
販売費及び一般管理費	4,149	3,781
営業利益	721	305
営業外収益		
受取利息	31	14
受取配当金	38	36
仕入割引	1	2
雑収入	22	60
営業外収益合計	93	113
営業外費用		
支払利息	35	30
為替差損	60	30
売上割引	1	1
雑支出	10	11
営業外費用合計	108	73
経常利益	706	345
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	7
投資有価証券評価損	—	6
ゴルフ会員権売却損	—	0
特別損失合計	0	13
税金等調整前四半期純利益	762	332
法人税等	262	143
四半期純利益	500	188
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	488	188

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	500	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	224
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△258	△256
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	△179	△31
四半期包括利益	320	157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	158
非支配株主に係る四半期包括利益	10	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	762	332
減価償却費	77	146
のれん償却額	—	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△32
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	8	△43
従業員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	19	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△42
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△26
受取利息及び受取配当金	△70	△51
支払利息	35	30
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	△56	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	6
売上債権の増減額 (△は増加)	3,604	2,533
未収入金の増減額 (△は増加)	700	377
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,465	△4,724
仕入債務の増減額 (△は減少)	△264	△2,025
未払消費税等の増減額 (△は減少)	103	△413
その他の資産・負債の増減額	△1,105	198
その他	24	39
<b>小計</b>	<b>5,268</b>	<b>△3,672</b>
利息及び配当金の受取額	70	51
利息の支払額	△36	△30
法人税等の支払額	△152	△205
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,149</b>	<b>△3,857</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
関係会社出資金の取得による支出	△64	—
投資有価証券の売却による収入	115	—
有形固定資産の取得による支出	△8	△97
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△158	△197
貸付金の回収による収入	—	0
その他の支出	△6	△133
その他の収入	4	55
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△124</b>	<b>△379</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	105
短期借入金の返済による支出	△100	△193
リース債務の返済による支出	△1	△10
自己株式の取得による支出	△1,344	—
配当金の支払額	△593	△530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,939	△629
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,987	△5,021
現金及び現金同等物の期首残高	20,124	23,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,112	18,902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,280	7,993	1,786	51,060	—	51,060
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,280	7,993	1,786	51,060	—	51,060
セグメント利益	1,572	52	103	1,729	△1,007	721

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,007百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,007百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,644	5,689	1,591	43,924	—	43,924
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,644	5,689	1,591	43,924	—	43,924
セグメント利益	1,207	57	54	1,319	△1,014	305

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,014百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。